

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	インタラクティブシステム特論第二		
英文授業科目名	Topics on Interactive System 2		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	梶本 裕之		
居室	西6-205		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kajimoto@hc.uec.ac.jp	<a href="http://www.kajimoto.hc.uec.ac.jp">http://www.kajimoto.hc.uec.ac.jp</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>本講義では我々の日常生活を変革しうる優れたインタラクティブシステムを研究開発するために、ディスカッションおよび発表形式の講義を行う。センサ、ディスプレイ、人間の知覚特性などインタラクティブシステムが前提とする知識を深めると共に、ディスカッションを通じて新たな研究課題を発見し、個人のプロジェクトワークとして実現する。望ましくは学会発表可能なレベルの提案が生まれることを期待している。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
インタラクティブシステム特論

<b>【教科書等】</b>
特になし

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>前半は主にケーススタディを基としたディスカッション形式とし、後半は各個人のプロジェクトワークの発表を予定している。</p>

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業において提案したシステムを実装，発表する．発表内容によって評価する．

### 【オフィスアワー：授業相談】

随時

### 【学生へのメッセージ】

国内学会，望ましくは国際学会で発表できるレベルの提案が生まれることを期待しています．積極的なディスカッションができることが必要条件です．

### 【その他】